



あすか野小だより NO.13

☆☆☆ 一人ひとりが輝く学校 ☆☆☆

生駒市立あすか野小学校
学校だより 2025.2.3

今日は立春。暦のうえでは春となりますが、寒い日が続いています。先週は、雪で道路や路面が凍っていましたが、子どもたちは氷にふれたり、雪ダルマをつくったりと、元気に遊んでいます。体調には気を付けて、季節の移り変わりを楽しんでもらいたいと思います。

豊かな発想で短詩に挑戦

各学年・各教室では1年のまとめの学習に集中して取り組んでいます。教室を回っていると、4年生が国語の学習で「まど・みちお」さんの詩を参考に短詩（一行詩）に挑戦していました。まどさんの有名な短詩には、題「にんじん」→おふろあがり 題「ケムシ」→さんぱつはきらい 等があります。あ小の4年生も負けじと作成したので、紹介します。一人一人の個性が光っています。

「かみなり」
青と空からにげたヘビ

「花」
ミツバチのきれいな水とう

「りんご」
小さな気球

「みかん」
あまくて小さな太陽

みんなちがって
みんないい

「じゃがいも」

- なんでもなれる変身のプロ ●カレーの海の中
- ステーキのわき役 ●おいしいおかしにへんしん
- 土の中のうまっているボール

4年生の教員に、「どうしてこんなに発想が豊かなのか？」と尋ねると、「あ小の子どもたちは、本をよく読んでいるからです。」と言っていました。子どもの想像力を培っていききたいものです。元気をもらったので、2月の全校朝会で、私の大好きな詩を紹介しました。

朝がくると

まど・みちお

朝がくると とび起きて
ぼくが作ったものでもない 水道で 顔をあらう
ぼくが作ったものでもない 洋服をきて
ぼくが作ったものでもない ごはんをむしゃむしゃ
たべる
それから ぼくが作ったものでもない 本やノートを
ぼくが作ったものでもない ランドセルにつめて
せなかにしょって
さて ぼくが作ったものでもない 靴をはくと
たったか たったか でかけていく
ぼくが作ったものでもない 学校へと
ああ なんのために いまに おとなになったら
ぼくだって ぼくだって なにかを作ることが
できるように なるために

2月の予定

日	曜	行事
1	土	
2	日	
3	月	
4	火	
5	水	ふれあいタイム⑨ 2年モンゴル体験
6	木	シェイクアウト訓練（中間休み） 学校保健委員会
7	金	委員会⑧ 新1年生体験入学 入学説明会
8	土	
9	日	
10	月	
11	火	建国記念の日
12	水	ふれあいタイム⑩ 1年命の講座 6年日本の音楽
13	木	1・4年参観懇談
14	金	2・5年参観懇談
15	土	
16	日	
17	月	
18	火	3・6年参観懇談
19	水	2月集会
20	木	
21	金	クラブ⑧
22	土	
23	日	天皇誕生日
24	月	振替休日
25	火	
26	水	全校朝会
27	木	バトンタッチセレモニー
28	金	スクールカウンセリング

社会を明るくする運動作文コンテスト

5年生全員が、令和6年度「生駒市社会を明るくする運動」の作文に応募しました。その中で、新野凜さんの「小説から教わったこと」という作文が、「特別賞」を受賞しました。「希望の糸」という小説を読んで気付いたことを作文にまとめていますが、文中に見守りボランティアの方とのやり取りが書かれています。一部を紹介します。全文は、HP でお読みいただけます。

～前略～ 私の住んでいる町では、「見守りボランティア」という私たちが安全に登校できるように見守っている方がいます。もちろんボランティアなのでお金はもらえません。でも、なぜしてくれるのか。それについて、「みんなが元気にあいさつをしてくれるのがうれしいから」と答えていたそうです。なので、私は「いつもありがとうございます。」の意味も込めてあいさつをしています。そして、私以外にもそうしてる人が多くいるように感じます。